

2025 年 9 月 19 日

各 位

上 場 会 社 名 株式会社 Def consulting
代 表 者 代表取締役社長 下村 優太
(コード：4833 東証グロース市場)
問合せ先責任者 管理部管掌執行役員 岩崎 雅一
(TEL 03-5786-3800)

資金使途変更及び暗号資産（イーサリアム（ETH））の購入決議に関するお知らせ

当社は、2025年9月19日開催の取締役会において、2025年5月30日付の「第三者割当による第6回新株予約権（行使価額修正条項付）及び第1回無担保普通社債の発行並びに新株予約権の買取契約の締結に関するお知らせ」、2025年9月9日付の「資金使途変更に関するお知らせ」及び2025年8月25日付の「第7回新株予約権（行使価額修正条項付）及び第8回新株予約権の発行並びに新株予約権の買取契約の締結に関するお知らせ」にて開示しました資金使途につきまして、下記のとおり一部変更することを決議しましたので、お知らせします。

併せて、暗号資産（イーサリアム（ETH））を購入することを決議しましたので、下記のとおりお知らせします。

記

I. 資金使途変更について

1. 変更の理由

当社は、2025年5月30日付の「第三者割当による第6回新株予約権（行使価額修正条項付）及び第1回無担保普通社債の発行並びに新株予約権の買取契約の締結に関するお知らせ」、2025年9月9日付の「資金使途変更に関するお知らせ」及び2025年8月25日付の「第7回新株予約権（行使価額修正条項付）及び第8回新株予約権の発行並びに新株予約権の買取契約の締結に関するお知らせ」にて開示しましたとおり、「ビットコイントレジャリー戦略に基づくビットコイン（Bitcoin）取得」として合計で5,644百万円を充当する予定としておりました。

しかし、2025年9月17日付の「トレジャリー戦略の方針転換に関するお知らせ」にて開示したとおり、その後の市場動向や競合環境を注視する中で、世界規模で進展するブロックチェーンの進化、とりわけイーサリアム（ETH）が果たす役割が急速に拡大していることを踏まえ、対象資産をイーサリアム（ETH）へと一本化する決断をしました。

スマートコントラクトやDeFi、NFTといった新産業の基盤技術を支えるイーサリアム（ETH）は、単なる投資対象にとどまらず、今後の経済や産業構造そのものを変革し得る「次世代インフラ資産」であり、米国をはじめとした海外の上場企業や金融機関においてもその保有・活用の動きが拡大しつつあります。

当社は、継続して有識者とのネットワークを拡充し、取得・保管・運用に関する知見を蓄積するとともに、投資運用ガイドラインを策定する等、実効性の高い体制を整備しており、これにより、調達資金を単なる資産保有にとどまらず、未来の産業を先取りする「戦略的投資」として活用してまいります。

取得するイーサリアム（ETH）は、長期保有を基本としながら、オプション取引やステーキング等の先端的手法も組み合わせることで、安定性と成長性の両立を図ります。

すなわち、資産価値の向上と収益機会の創出を同時に実現し、デジタル資産を活用した独自の成長モデルを構築してまいります。

今回の資金使途変更は、当社が未来の金融・産業インフラに先駆けて挑戦し、投資家の皆様とともに新しい価値創造の領域を切り拓くための重要な一歩であると考えておりますので、引き続きのご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

2. 変更の内容

■第6回新株予約権（行使価額修正条項付）について

【変更前】

具体的な使途	金 額 (百万円)	支出予定時期
① 社債の償還（額面価額総額）	200 (充当済金額：200)	2025年6月～2026年6月 (充当時期：2025年6月～ 2025年7月)
② ビットコイントレジャリー戦略に基 づくビットコイン（Bitcoin）取得	462 500	2025年9月～2026年3月
合計	662 700	

【変更後】（変更箇所は下線で表示しております。）

具体的な使途	金 額 (百万円)	支出予定時期
① 社債の償還（額面価額総額）	200 (充当済金額：200)	2025年6月～2026年6月 (充当時期：2025年6月～ 2025年7月)
② <u>デジタル資産トレジャリー戦略に基 づくイーサリアム（ETH）取得</u>	462 500	2025年9月～2026年3月
合計	662 700	

※ 第6回新株予約権は 2025 年 9 月 2 日に行使が完了しましたが、行使期間の株価変動により実際の調達金額は、本新株予約権の発行決議時点の想定調達額 662 百万円を上回る 700 百万円となっております。そのため、上記の表における変更前の「②ビットコイントレジャリー戦略に基づくビットコイン（Bitcoin）取得」及び「合計」、変更後の「②デジタル資産トレジャリー戦略に基づくイーサリアム（ETH）取得」及び「合計」の各「金額（百万円）」欄の下段には、変更後の金額を記載しております。また、普通社債の発行により調達した 190 百万円についても「デジタル資産トレジャリー戦略に基づくイーサリアム（ETH）取得」に充当する予定であります。

■第7回新株予約権（行使価額修正条項付）及び第8回新株予約権について

【変更前】

具体的な使途	金 額 (百万円)	支出予定時期
① ビットコイントレジャリー戦略に基 づくビットコイン（Bitcoin）取得	4,982	2025年9月～2029年3月
合計	4,982	

【変更後】（変更箇所は下線で表示しております。）

具体的な使途	金 額 (百万円)	支出予定時期
① <u>デジタル資産トレジャリー戦略に基 づくイーサリアム（ETH）取得</u>	4,982	2025年9月～2029年3月
合計	4,982	

3. 当期業績への影響

本件につきましては、当社の中長期での企業価値向上に資する資金使途であると考えておりますが、現時点における業績への具体的な影響は未定であります。

今後、イーサリアム (ETH) の取得等の進捗状況につきましては、適時開示及び当社 HP 等を通じて、投資家の皆様に適時、透明性高く開示してまいります。

II. 暗号資産（イーサリアム (ETH)）の購入決議について

1. 暗号資産（イーサリアム (ETH)）の購入の理由

本日、資金使途変更の取締役会決議と同時に、イーサリアム (ETH) を購入することを決議しました。本決議に基づく購入資金については、上記「I. 資金使途変更について」にて記載しましたとおり、調達資金を充当する予定であります。

デジタル資産トレジャリー戦略は、暗号資産（イーサリアム (ETH)）を「次世代の価値保全資産」と位置づけ、従来の財務戦略にとどまらず、新たな企業成長の基盤として活用するものであります。

イーサリアム (ETH) は、Web3 や DeFi、NFT、スマートコントラクトといった新領域の中核に位置づけられ、世界的に広がるデジタル経済圏の要となる存在であり、当社は、このグローバルな潮流を先取りし、単なる資産保有にとどまらず「未来の産業インフラ」への参画という視点で戦略的に保有する予定であります。

本決議は、当社が革新的な挑戦を通じて持続的な成長と企業価値の最大化を実現していくことを示すものであり、今後の発展に向けた極めて重要な布石であると考えております。

2. 当期業績への影響

本件につきましては、当社の中長期での企業価値向上に資する決議であると考えておりますが、現時点における業績への具体的な影響は未定であります。

今後、イーサリアム (ETH) の取得等の進捗状況につきましては、適時開示及び当社 HP 等を通じて、投資家の皆様に適時、透明性高く開示してまいります。

以上